

中学歴史プリント（過去問類似）

平安時代

名前

得点

/8

問1 平安時代の終わりに、源氏との激しい争いを繰り広げた氏族について述べたものです。壇ノ浦の戦いで滅亡し、その過程で行われた南都焼き討ちが、後に鎌倉時代における東大寺再建の直接的な要因ともなった、この氏族は何ですか。 (2017年 北海道公立入試 類似)

1. 平氏 2. 藤原氏 3. 北条氏 4. 蘇我氏

問2 平安時代中期、社会に不安が広がる中で「阿弥陀如来を信じれば死後に極楽浄土へ行ける」という教えが流行しました。この思想に基づき、藤原頼通が宇治に建立した、中央の堂の左右に翼を広げたような回廊を持つ建築物の名称と、その背景にある仏教の教えの組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2025年 群馬公立入試 類似)

1. 平等院鳳凰堂 — 浄土教 2. 中尊寺金色堂 — 浄土教 3. 平等院鳳凰堂 — 禅宗 4. 東大寺南大門 — 浄土教

問3 最澄が比叡山に延暦寺を建立した背景にある、仏教と国家の関係性についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2018年 和歌山公立入試 類似)

1. 仏教の力で国家を災いから守り、平和を維持しようと考えた。 2. 貴族一人ひとりの私的な繁栄を祈禱することを最大の目的とした。 3. 現世での利益を得るために、呪術的な儀式を最優先した。 4. 武士の台頭を抑えるために、独自の軍事力を維持しようとした。

問4 平安時代、遣唐使が廃止されるなど対外関係が変化した時期と重なるように、地方では「国司」による統治のあり方が問題となりました。国司が地方政治の混乱を招いた背景やその実態について述べた文として、正しいものを選んでください。 (2024年 富山公立入試 類似)

1. 朝廷が徴税の権限を国司に委ねたため、一部の国司が私欲のため過酷な取り立てを行った。 2. 朝廷が地方豪族を国司に任命する方針に切り替えたため、各地で土地争いが激化した。 3. 遣唐使の廃止によって外国との貿易が途絶えたため、国司の主な収入源がなくなった。 4. 国司が土地の国有化を厳格に進めたことで、自墾地系荘園を所有する農民が反発した。

問5 平安時代末期、平氏政権を確立した平清盛が、現在の神戸市にあたる場所に「大輪田泊」を整備して積極的に推し進めた中国（宋）との貿易について、その主な目的と影響を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2023年 北海道公立入試 類似)

1. 貿易によって得られる莫大な利益を平氏一門の経済的基盤とし、また輸入された宋銭が国内で流通するきっかけとなった。 2. 遣隋使の派遣を継続することで、大陸の高度な律令制度や仏教文化を直接取り入れ、天皇中心の国づくりを強固にした。 3. 倭寇による被害を防ぐために、明の皇帝から交付された勘合という札を用いて、正式な貿易船であることを証明させた。 4. 長崎の出島を窓口として、銀や銅を輸出する代わりにキリスト教の布教を伴わないヨーロッパの文化を導入した。

問6 1086年から始まった院政の時期、上皇は自身の権力を支えるために、独自の軍事組織や政治基盤を整えました。これに関する当時の状況として正しい記述はどれか、次の中から選びなさい。 (2023年 香川公立入試 類似)

1. 「北面の武士」と呼ばれる独自の軍事力を組織し、自らの身辺警護や寺社の強訴を防がせた 2. 「執権」という役職を新たに設け、北条氏に政治の実務を代行させた 3. 「班田収授法」を厳格に実施し、公地公民の原則に基づく律令国家の再建を目指した 4. 「内閣」を組織し、国務大臣を選任することで近代的な議会政治の準備を進めた

問7 平安時代中期、地方政治の混乱に乗じて武士団を率いて大規模な反乱を起こし、関東地方で自らを「新皇」と称した人物と、その出来事の背景として適切な説明の組み合わせを選びなさい。 (2021年 長野県公立入試 類似)

1. 平将門：国司などの地方官に対する不満を背景に、武士の力を結集して関東の独立を試みた。 2. 北条泰時：鎌倉幕府の執権として、武士の社会に適合した独自の裁判基準である御成敗式目を定めた。 3. 聖武天皇：全国に国分寺を建て、仏教の力によって国家の混乱を鎮めようとした。 4. 藤原頼通：摂関政治の全盛期を築き、浄土信仰に基づいて宇治の地に平等院鳳凰堂を建立した。

問8 白河天皇が上皇（太上天皇）となって政治を行った目的として、当時の政治状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれか。 (2017年 鳥取公立入試 類似)

1. 藤原氏による摂政や関白の力を抑え、自ら実権を握るため 2. 源氏や平氏といった武士の台頭を防ぎ、朝廷の軍事力を高めるため 3. 天皇中心の政治を確立するため、すべての公職を廃止するため 4. 鎌倉幕府の勢力拡大を阻止し、律令政治の完全な復活を目指すため